

第 2 4 回八代地域審議会発言要旨

委員	事務局
<p>■報告事項（１）八代市総合計画後期基本計画について（企画政策課） 【資料 1-1、1-2】</p>	
<p>・資料 1-2 No. 3 について、林業経営をされている方々は、シカ、イノシシ、サルの被害に非常に困っていらっしゃる。自然と親しむ取り組みと、有害鳥獣対策が矛盾するよう感じる。自然環境の変化に伴う取り組みについての啓発活動を、具体的に何を八代市としてやっていくか、課を越えて検討して欲しい。</p>	<p>・守るべき自然と、有害で対策が必要な自然というものがあるので、どちらかに偏ることなくバランスをとって進めていく必要がある。有害鳥獣対策は水産林務、環境保全是環境部署で行っているが、全庁的な認識も必要なので、いただいた意見を担当課へもつなげたい。</p>
<p>・資料 1-2 で意見に対する市の考え方が示されているが、今後 5 年間で政策を進めていく中で、少しずつ見直しを行っていくのか。</p>	<p>・5 年間の基本方針として総合計画をとりまとめているが、実際の事業は毎年見直しながら実施計画に基づき進めていく。その都度必要な課題に対応しながら変化していく。</p>
<p>・基本目標の 2 に「郷土を拓く人を育むまち」とあるが、実際地元の企業に就職をしてくれる子が 1 割いるかいないかである。 会社のブランド、給与等を考えるとどうしても県外の会社に就職していくのが現状。進学する子どもも、ほとんど県外に出て行っている。 ・未来を担う人づくりの前に人が住まなくなるのではないか。定住化を推し進める計画が何かないか。</p>	<p>・市に受け皿がないため外に出て行っているのが現状。これからは企業誘致に加えて地場産業の育成にも力を入れていく。また、県のフードバレー構想にも積極的に参画するため、庁内のプロジェクトも立ち上げた。 ・いろいろな施策を定住という見方で展開していくため、庁内プロジェクト立ち上げており、八代のいいところを外にアピールしながら、八代に来てもらい、住んでもらうということを後期基本計画で取り組んでいく。行政だけではできないので、民間と一緒に進めていきたい。</p>

委員	事務局
<ul style="list-style-type: none"> ・定住という言葉が市民に喚起していくために、総合計画のわかりやすいところに出していくべき。どこに載っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「定住」そのものが施策の柱となるべきところだが、後期基本計画ということで、基本構想の括りのなかで策定しなければならず、「安全で快適に暮らせるまち」という基本目標の中に盛り込んでいる。 ・子育て環境や住環境整備など様々な事業が「定住」として捉えることができるので、そのような市の施策を集めて、「定住」という括りで情報発信していきたいと思っている。
<p>■報告事項（２）平成２５年度当初予算について（財政課）【資料２】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・４月１日から法律が変わり６０歳を越えても雇用しないといけないということだが、人件費はどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法律の改正はあったが、２５年度から即変わるわけではなく、八代市は６０歳定年制である。将来的には国などの動向を見ながら市も検討していくことになる。 ・市町村合併後、職員数を減らしているが、地方分権で逆に仕事は増えており職員が不足している状況。人件費を落としながらどう仕事をこなしていくのかをこれから議論していく。 ・また、行政がすべてサービスを行うのではなく、民間でできるものは民間に任せる。アウトソーシングも考えながら経費削減に取り組んでいきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・扶助費などが増えていく中、一般会計予算は１％増となっているが、特別会計を含めた予算はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計、特別会計、企業会計の合計が約９１１億で、前年度から約６億減少している。内訳は、特別会計で約９億円の減、企業会計で約１億５千万円の減、一般会計が約５億円の増となっているので、合計で約６億円の減となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源と依存財源どのくらいの割合が理想なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源が多いほうが望ましいが、税収が確保できる自治体には交付税が減ることになるため、どれくらいのバランスが理想かは難しい。今後交付税の減額も見込まれるため、できるだけ自主財源を確保するよう努力しなければならないと思っている。

委員	事務局
■報告事項（3）住民自治の進捗状況について（市民活動支援課）【資料3】	
<ul style="list-style-type: none"> ・先行地域の5校区は、住民自治の交付金の中で運営されているのか。 ・今回立ち上げる9校区については設立されてから、来年度から交付金が入るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の一括交付金の中で地域独自のまちづくり活動が行われている。 ・平成25年度から一括して交付金が交付される。
<ul style="list-style-type: none"> ・交付金については、分別収集と敬老会で使ってしまうので、自由に使うことができないのが現状。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、地域協議会に新たな財源を確保する手法を検討しているところである。